鉛製給水管の適切な対応

- 鉛に関する水道水質基準
 - •O.O1mg/L 以下に強化 (H15.4.1より)
- 水道ビジョン
 - 鉛製給水管の総延長をできるだけ早期にゼロにする
- 「鉛製給水管の適切な対策について」(H19.12課長通知)
 - ①使用者(所有者)を特定し、個別に広報活動を実施
 - ②布設替計画の策定 特に公道部(配水管分岐部~水道メーター)の布設替え促進
 - ③布設替えが完了するまでの**水質基準の確保** 鉛の溶出対策 や 鉛濃度の把握

給水装置工事のトラブル防止への取組

「給水装置工事の適切な施工とトラブルの防止のために」(H21.6)







○需要者への情報提供

→ 指定工事店リスト、修繕など対応できる内容、対応時間等、 詳細な情報提供が効果的。

〇悪質商法への対応

→ リーフレット等を用いた分かりやすい情報提供が効果的。 被害が起きた際には、消費者行政の担当部署との連携も重要。

〇無届工事への対応

→ 指定工事事業者に対する講習・研修を通じて、届出の必要性を周知徹底。 無届工事発生後の対応手順についても明確化。

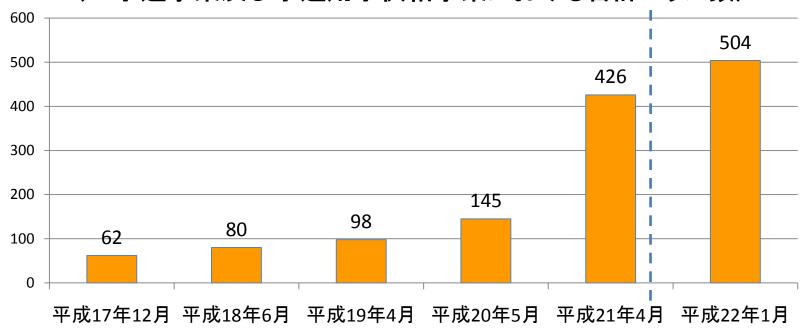
•給水装置における誤接合の防止

→ 埋設管の誤認に注意。残留塩素の量を確認するなど適切な措置を徹底。



地域水道ビジョン策定状況の推移

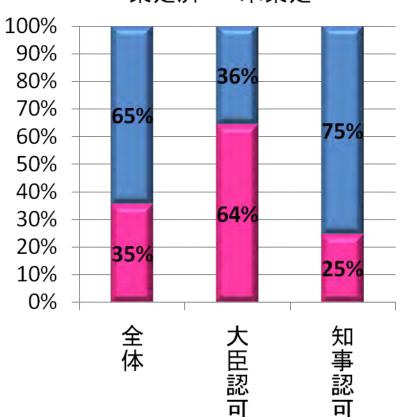
地域水道ビジョン策定状況の推移 (上水道事業及び水道用水供給事業における合計プラン数)



地域水道ビジョンの策定状況 (平成22年1月現在)

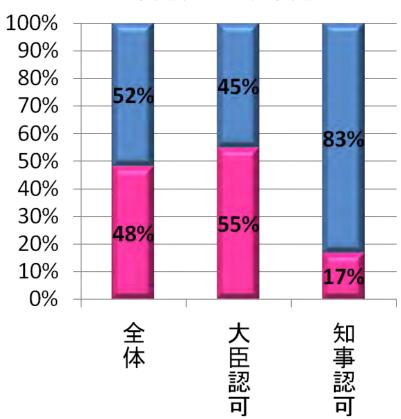
事業数割合(上水道)

■策定済 ■未策定



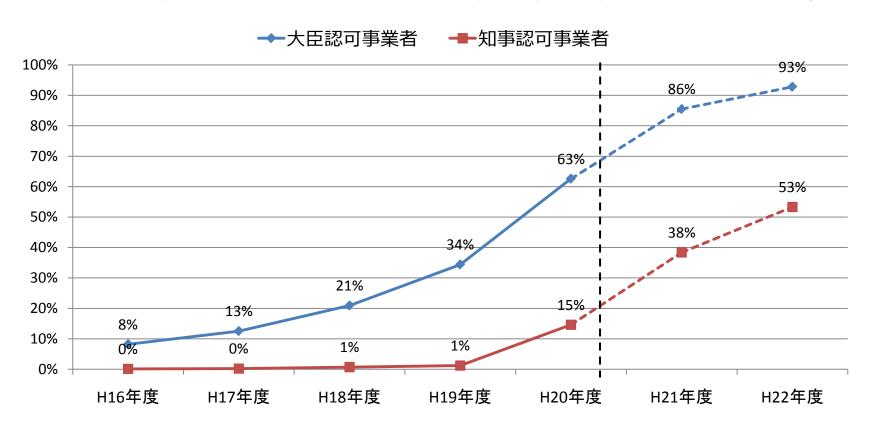
事業数割合(用水供給)





地域水道ビジョン策定見込み

上水道事業者及び水道用水供給事業者に対するアンケート集計結果 (平成20年度末時点におけるビジョン策定年度(予定含む)の調査結果)



水道広域化の推進

厚生労働省の取り組み

手引き書等

- 広域的水道整備計画及び水道整備基本構想について (平成20年7月)
 - ◆都道府県版水道ビジョンの策定を推奨
- 水道広域化検討の手引き (平成20年8月)
 - ◆水道広域化の具体的な検討方法、検討事例、導入手順、フォローアップ等
- 事業統合検討のための手引き書(検討中)
 - ◆事業統合の効果の第三者への説明手法等について
- 水道事業におけるアセットマネジメント(資産管理)に関する手引き (平成21年7月)
 - ◆各事業者によるアセットマネジメントの実践

国庫補助制度

- 事業統合を行う場合の老朽管更新事業、重要給水施設配水管、石綿セメント管 更新事業の補助基準緩和(平成21年度~)
- 水道広域化促進事業費の創設(平成22年度予算案)

H20立入検査・文書指摘数の割合

